



<9月号>

朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校
令和4年8月29日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1
TEL 048 (464) 7575
FAX 048 (467) 4742

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

夏の経験をもとに

校長 杉山 巖

まだまだ暑い日が続いている中ですが、今日から2学期が始まりました。新型コロナに関しては新規感染者の数は、夏休みに入って急増し、8月になると全国で1日あたり25万を越えるようになりましたが、8月中旬ぐらいから増加傾向は一段落しているようです。しかし高止まりの状況は変わらず、埼玉県の新規感染者の数は1日あたり1万人、朝霞市も1日あたり200人を越える日が続いています。引き続き感染症対策のもと、新学期をスムーズにスタートさせたいところです。

さて、新型コロナの感染状況は厳しくても、私たちの生活はある程度、**見通しをもって行動できるようになりました**。3つの密を回避する、そして人との距離を確保する、マスクを着用する、手洗いなど手指衛生に務める、などを基本に、熱中症対策としてマスクを外せる状況では外して活動しているところです。

1学期についても体育大会や部活動の大会など対策を十分に取った上で実施しました。水泳の授業も注意しながら行いました。

そして、夏季休業中には、昨年、一昨年と中止となった朝霞市民まつり『彩夏祭』の『よさこいフェスタ』に全学年の有志からなる「朝霞三中鳴子『みつばち』」として参加し、鳴子の演舞を披露してきました。

彩夏祭は2年間の中止期間があり、現在の生徒の中に「鳴子踊り」を経験したものがいなくなっている状況での参加でしたが、担当の先生がしっかりと準備・計画を整え、地域の「溝沼連合町内会『朝霞溝連』」の方に踊りの指導をお願いし、PTA等の協力を得て、当日素晴らしい演舞を披露することができました。

この彩夏祭への鳴子の参加については、**地域の中学校として参加しさらに力強い演舞を沿道の人たちに見ていただき、感動してもらうことができ、大変意義のあることであったと思っています**。学校公開もそうですが、地域の方に見てもらったり、知ってもらったりすることで、**また三中を応援してもらえます**。次も、来年も楽しみだと思ってもらえます。**コロナ禍の中でも感染対策を講じながら工夫して練習を行い以前のような演舞を披露することができました**。

また、この夏季休業中にコロナ禍の中ではありますが、**部活動等についても埼玉県大会、関東大会等が開催されました**。私も都合がつく限り参観させていただきましたが、大きな会場の中で生徒の皆さんが拍手を受けながら競技や演奏をする姿・態度を見させてもらい**感動と喜び**をもらってきたところです。

他にも、すでに世代交代した部活動の新チームでは、それぞれが秋の新人スポーツ大会に向けて決意新たに練習していたはずですが、自分を高めるために、また、レギュラーの座をつかむために、あるいは、人より一步前に進むために過ごした時間はそれぞれのかげがえのない経験です。

様々な経験が人を成長させるといいますが、コロナ禍でどのように過ごしてきたかを含めて、すべての経験が皆さんを成長させてくれるはずですが、夏休みに経験した大舞台の緊張する場面で自分を表現してきたことや日々の練習をこつこつ積み重ねてきたこと、よかったことも悪かったことも**2学期の活動のエネルギー**となってくれることでしょう。

実りある2学期に向けて、夏の経験を土台に、さらなる経験を積み重ねて大きな山を築いてくれることを期待しています。